

アドベンチャートラベルに対応したガイド及び コーディネーター育成実地研修事業

報告書



一般社団法人四国ツーリズム創造機構

令和5年3月10日（金）

1.事業概要	・ ・ ・ ・ P2
2. ATに関する基礎知識研修	・ ・ ・ ・ P3
3.体験型プログラム等のガイド育成	・ ・ ・ ・ P21
4.分析・課題抽出	・ ・ ・ ・ P37
5. 成果	・ ・ ・ ・ P38
6.総括	・ ・ ・ ・ P40

1.事業概要

事業名:アドベンチャートラベルに対応したガイド及びコーディネーター育成実地研修事業

1. 事業の件名

アドベンチャートラベルに対応したガイド及びコーディネーター育成実地研修事業

2. 事業の概要

(1) 目的

2021年9月に開催されたATWS2021北海道にて、AT(アドベンチャートラベル)体験型モデルコースであるPSA(プレサミットアドベンチャー)に採用されたほか、世界的な旅行ガイドブック「ロンリープラネット」が今訪れるべき世界の最も旬な旅行者先を紹介するランキング「Best in Travel」2022の地域部門で「四国」が世界6位に選ばれるなど、四国の知名度が向上している。またR3年度のインバウンド誘客促進事業では広域事業「お遍路×SDGs×ATをフックとした誘客促進事業」及び四国運輸局主体の「アドベンチャーツーリズムのモデルコース造成事業」においてコンテンツのブラッシュアップ、それに紐づくモデルコース造成のほか、地域セミナーなどを通じてATに対する受入れ気運の醸成も進めているところである。今後ATを四国に根付かせ、リピーターを獲得してゆくためには更にターゲット層の満足度を高めるガイドを育成することが重要である。

本事業においては、ターゲット層の価値観を理解したネイティブな旅行会社スタッフや専門家などの有識者を招き、旅行先の実際の現場においてより実践的なガイド研修を実施した。

(2) 実施主体

一般社団法人四国ツーリズム創造機構

(3) 対象市場

欧米豪(アメリカ、イギリス、フランス、オーストラリア)、東アジア(香港、台湾)

(4) 対象属性

欧米豪の中間所得階級以上のモダンラグジュアリー層、少人数グループ、家族、ファミリー層、東アジアのリッチシニア

(5) 連携先

徳島県、香川県、愛媛県、高知県、四国内の地域連携DMO

3.事業の内容

(1) ATに関する基礎知識研修

(2) 体験型プログラム等のガイド育成

(3) 分析・課題抽出

2. A Tに関する基礎知識研修

ガイド育成の現地研修に先駆け、A Tに知見を有する専門家を招請し、ATガイド希望者に対して、A Tの概要理解や意識向上及びA T要素のコンテンツにおけるリスク対策（事故、怪我等に対する対応）の意識醸成を目的とした基礎知識研修を実施した。

テーマ

ガイドの基本的な技術と姿勢（アドベンチャートラベル）

専門家



荒井 一洋氏（北海道在住）北海道アドベンチャートラベル協議会 会長。

自身で北海道のアドベンチャー旅行のガイドとして数多くの観光客を案内した経験や国土交通省、環境省等の事業にて『アドベンチャートラベル』、『アドベンチャートラベルのガイド』等様々なトピックにて講師としての経験豊富。GSTC公認トレーナー、日本エコツーリズムセンター理事、アジアエコツーリズムネットワーク理事、北海道アドベンチャートラベル協議会、北海道観光まちづくりセンター執行役員、大雪山自然学校 代表等様々なポジションにて日本だけではなく、世界中に活躍しているアドベンチャートラベルパイオニア。

実施日時・場所

【実施日時】令和4年9月16日（金） 13:00～15:00

【場 所】高松センタービル 12階 小ホール

【形 式】スクール形式・座学講演

【参 加 数】会場参加者8名、オンライン参加者36名

※令和3年度のガイド育成セミナーの際に、四国全域を対象として募集した結果、香川県在住のガイド希望者の参加者が多かったため、今回の研修では香川県を会場として開催。

※県外の方等、会場に来られない方用にオンライン（zoom）による視聴も対応します

【講演内容】ATの概念、ATと一般的な旅行の違い、ATガイドに必要なスキル、四国（愛媛・高知）のフィールド（山、海、川）のアクティビティにおけるATの要素やリスク、注意点など。

【アンケート】

参加者に対してアンケートを実施。氏名・在籍・対応言語・ガイドとしての課題等を取り纏めます。



会場参加ができない方向けのオンライン

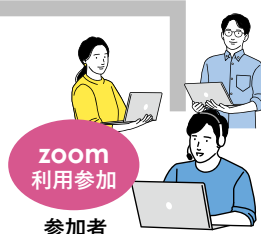
※会場の様子をzoomで視聴が可能になるように設定。

オンライン参加の方は、ネット環境が整っている自宅や職場等、好きな場所から参加が可能。

会場モニター設定



インターネット経由
zoomでの視聴可



2. A T に関する基礎知識研修

研修の様子

令和4年度：アドベンチャートラベルに対応したガイド及びコーディネーター育成実地研修事業

あなびぎトラベル

背景と事業目的

- 2021年9月に開催されたATWS（アドベンチャートラベルワールドサミット）2021北海道にて、アドベンチャートラベル（以下AT）体験型モデルコースであるPSA（プレサミットアドベンチャー）に四国が採用。
- 世界的な旅行ガイドブック「ロンリープラネット」が今訪れるべき世界の最も旬な旅行先を紹介するランキング「Best in Travel 2022」の地域部門で「四国」が世界第6位に選出。
- 令和3年度のインバウンドの誘客促進事業にて「お遍路×SDGs×ATをフックとした誘客促進事業」にて、ATのモデルコース造成事業を実施。



世界的に「四国」の注目度・知名度が向上しており、四国にてインバウンド旅行者を受け入れるためにこれまでATなどのモデルコースを造成してきた。今後、ATを四国に根付かせ、欧米豪を中心にリピーターの獲得を目指している。
そのためには、**欧米豪を中心としたインバウンド旅行者の満足度を高めるガイドが必要不可欠**である。

事業内容

インバウンド対応ガイドの育成

●ATに関する基礎知識研修（1回）

ATに関する基礎知識研修会（本日の研修会）を実施。

ATの概念理解の意識向上、事故・怪我等に対するリスク対策など、研修会を通じてガイド候補者の意識&知識向上につなげる。

●体験型プログラム研修によるガイド育成（日帰り2回、1泊2日2回）※各回定員5名

欧米豪富裕層をターゲットとし、これまでの取組みで造成された旅行商品の現場にて研修を実施。

ターゲット層の価値観を持つネイティブ人材を旅行者と見立てた実践型研修を実施。

観光知識向上、インバウンド旅行者から想定される要望とその対応、ATガイド体験経験値から得られる柔軟性向上を目指す。

※少人数定員で実施。応募申し込み多数の場合は、実施主体と協議の上、厳選な人選を行う。

●実地研修体験者は、将来的にATガイドとして活躍

基礎知識研修・体験型プログラム研修両方受講した方は、四国におけるATガイドとして四国ツーリズム創造機構リストに掲載。



ガイドの基本的な技術と姿勢

荒井一洋 arai@daisetsu.or.jp
NPO 大雪山自然学校 代表理事

① ガイドに必要な知識と技術

- ・リスクマネジメントの知識と技術（最低条件。義務）
- ・対象物に関する知識（自然・文化・歴史）
- ・分かりやすく伝える技術（プログラム企画、当日のプレゼンの仕方）
- ・人間の行動をコントロールする技術（集団・スケジュールの管理）

② あなた自身について

- ・なぜ、ガイドをしているの？（ミッション：ガイドを通して何を達成したいのか）
- ・まわりから応援される夢を持つ。（ビジョン：理想像は？）
- ・未来日記 感動の人生の脚本を！（ビジョンの具体例。その状態は？）

③ リスクマネジメント3つの段階

- ・事前にあること
- ・ガイド当日にあること
- ・事故が起こった時にすること

④ ガイドする時の3つの立場

- ・インストラクション（指示・説明：一方通行）
- ・インタープリテーション（解説：双方向）
- ・ファシリテーション（促進：双方向）

⑤ 3つのT

- ・楽しい
- ・ためになる
- ・得をする *相手の期待以上を目指す

⑥ 対象者理解3つのポイント

- ・「自己実現の欲求」を満たす為に マズローの5段階欲求説
- ・相手の為にではなく、相手の立場で
- ・ジョハリの窓 自己理解は他者理解

⑦ ガイドの姿勢

- ・「今・ここ・私たち」で最高の時間を過ごすことに集中
- ・一瞬をつかむには準備が必要。その努力は惜しまないし、努力できる環境を整える
- ・とは言え、無理はしない。妥協したとしても、今が最高！

2. A T に関する基礎知識研修

詳細

⑧ 非言語コミュニケーション

- ・「人は見た目が9割」 どのような印象を与えたいかで身なりを決める
- ・「振る舞いと表情」(行動)で、このグループの規範(ルール)をつくる
- ・五感(観る、聴く、触れる、嗅ぐ、味わう)を働かせてもらう為の様々な動詞を取り入れる。

⑨ お客との距離感

- ・遠くの親戚が訪ねて来た時のように
- ・良い旅行者であるためのお手伝い。「郷に入れば郷に従え」をスムーズに導入
- ・基本的にはお客様が自立して行動するが、困った時にはそこにいる。

⑩ ガイドの姿勢

- ・分からなかったらその場で調べる、手配する！
- ・お客様が多くの時間とお金をかけて来て下さった「今」という時間。
- ・たくさんの試し打ち！ PDCA をぐるぐる回して対象者理解 UP！ 細部にこだわる・スタイル？

⑪ ガイドに期待されていること

- ・ガイドは目利きであれ！ 「ご褒美消費」、「メリハリ消費」の心理
- ・ガイドは万が一の場合の保険だ！ 予定どおり行かない時の、別プラン
- ・ガイドは何でも相談所！ 頼りにしていい人。

⑫ ガイドプログラムの企画

- ・「自身の思い」と「マーケット分析」「ポテンシャル(資源)分析」からコンセプト(ねらい)を！
- ・誰のために、何のためにガイド(観光)を行うの？ ～お客様の為？地域の為？～
- ・集客の為のA級資源、来てみたら面白かったB級資源、地元として知ってもらいたいC級資源

⑬ 英語ガイドのコツ

- ・非言語コミュニケーション(見る・聞く・嗅ぐ・触る・味わう・感じる・止まる・・・)
- ・文章よりも単語
- ・話すよりも、見てもらう・読んでもらう

⑭ 歩行の技術

- ・最初の休みは30分以内に～人間は体験してみて初めて分かる～
- ・足の置き場を見せる
- ・待ってもらおう申し訳なさや安心感 ～解説を上手く使う、ガイドが水を飲む～

⑮ パッキング (快適に歩く環境を整える；団体旅行・修学旅行)

- ・ビニル袋で中を防水
- ・リュックは体に密着(脇の紐をしっかりと締める。胸の紐をしっかりと締める)
- ・「ガイドの七つ道具」的な～ マッチ・ナイフ・ループ・双眼鏡・ノート・ペン・袋・ロープ・

2. A T に関する基礎知識研修

投影資料



自己紹介 荒井 一洋

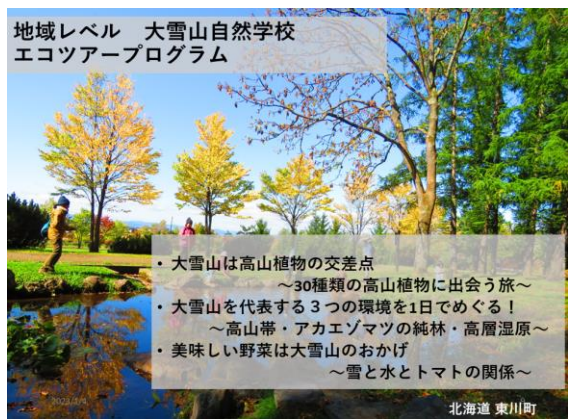
国際	アジア・エコツーリズム・ネットワーク(AEN) 理事 アジア・Ausie・NZなど21か国・エコツーリズムに特化 持続可能な観光のバイオフィア
国内	JARTA (Japan Alliance of Responsible Travel Agencies) 日本におけるSustainable Tourismの推進 GSTC(Global Sustainable Tourism Council)公認トレーナー
北海道	北海道アドベンチャートラベル協議会(HATA) 会長 アドベンチャートラベラー受入体制を整える アドベンチャートラベルを促進に観光事業をしない経営者育成
地域	合同会社 北海道観光まちづくりセンター 業務執行社員 北海道内約20自治体の地域おこし協力隊の人材育成・定住支援 3年間を専任に暮らす、3年後に年収200万円の仕事をつくる
	NPO法人 大雪山自然学校代表 + Adventure Hokkaido 合同会社 北海道東川町。2001年設立。エコツアー・子供キャンプ 国立公園管理・森のようちえん・ホースセラピー



2. A Tに関する基礎知識研修

投影資料

地域レベル 大雪山自然学校
エコツアープログラム



- ・大雪山は高山植物の交差点
～30種類の高山植物に出会う旅～
- ・大雪山を代表する3つの環境を1日でめぐる！
～高山帯・アカエゾマツの純林・高層湿原～
- ・美味しい野菜は大雪山のおかげ
～雪と水とトマトの関係～

北海道 東川町

地域レベル 大雪山自然学校
環境保全活動「旭岳自然保護監視員」

コンセプト：利用者による環境保全

東川町大雪山国立公園保護協会(委託)
期間：5～11月(177日間)
人数：760人日
内容：レクチャー、登山道整備、清掃、
インフォメーションカウンター、
募金・長靴貸出



大雪山自然学校 人材育成

ボランティア200人
200 Volunteers



- 主体的行動
active involvement
- コミュニケーション力
communication
- 安全管理/Risk mng
理論的思考
Logical thinking
- アウトドアスキル
Outdoor skills
- リーダーシップ
Leader/followership
- 問題解決力
Problem solving

今日の内容

ATガイドの最低ライン

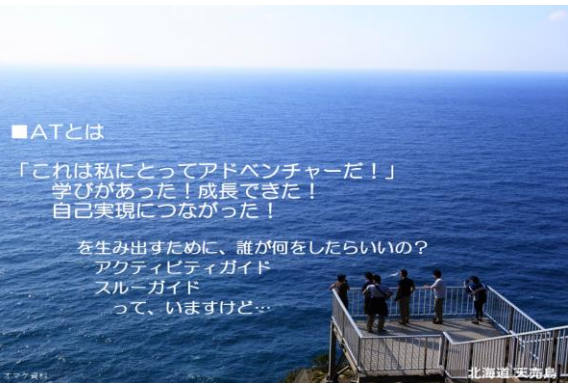
0. ATとは
1. リスクマネジメント
2. 対象者理解
3. ガイドの役割3つ
4. 「企画」を分析する
5. ATはSTだ！



■ATとは

「これは私にとってアドベンチャーだ！」
学びがあった！成長できた！
自己実現につながった！

を生み出すために、誰が何をしたらいいの？
アクティビティガイド
スルーガイド
って、いますけど…



■リスクマネジメント

リスクマネジメントとは、危機を組織的に管理し、損失を回避する、又は損失を低くするプロセスをいう。

つまり
ガイド組織の価値を維持するために、組織経営の障壁となる危機や、その危機による影響を把握し、事前に対策とすることで危機発生を回避する、また、危機発生時の損失を極小化するための経営管理手法をいう。

リスクマネジメントの3段階

- ▶ 1. 起きる前にどう準備するか
→過去の事故判例に学ぶ、危険チェック、予防、練習
→可能な範囲の保険加入
→消防・警察・行政との連携体制
- ▶ 2. プログラム当日にどうするか
→危険を参加者と共有するセーフティーク
(安全管理の責任を指導者だけが負わない)
- ▶ 3. 起きてしまった時にどうするか
→応急処置と迅速な連絡
→傷病者を医療機関に受け渡す
→情報の管理(マスコミ等)、起きた後にどうするか。

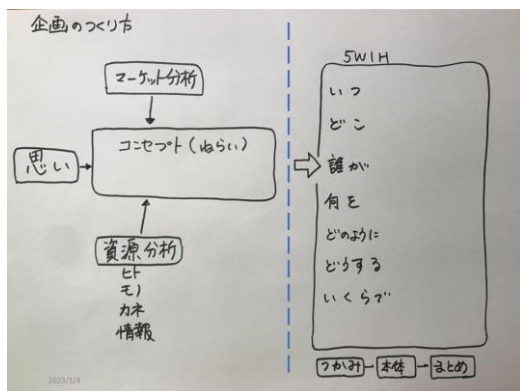
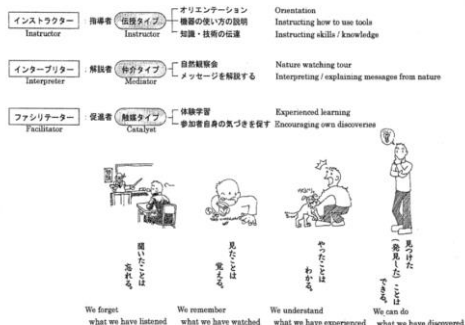
大 ↑ リスク ↓ 小	転嫁 保険利用、他組織との協働で、予測される損失の大部分または一部を団体以外に負担させる	回避 リスクのある活動自体をやめる
	保有 損失そのものを自身で負担する	軽減 リスクを起こりにくくする「予防」やリスクによる損害を小さくする対策をとる
	少 ←	頻度 → 多

2. A T に関する基礎知識研修

投影資料



■ガイドの3つの役割



2. A T に関する基礎知識研修

投影資料



GSTC基準とは

GSTC-I
(Industry:観光事業者)

GSTC-D
(Destination:観光地)

GSTC基準「観光事業者およびツアーオペレーター用」	
項目	内容
1. 持続可能な観光の理解	持続可能な観光の概念を正確に理解し、環境、社会、経済、文化、観光資源の価値を認識し、持続可能な観光の推進に貢献する。
2. 持続可能な観光の推進	持続可能な観光の推進に貢献する。持続可能な観光の推進に貢献する。
3. 持続可能な観光の推進	持続可能な観光の推進に貢献する。持続可能な観光の推進に貢献する。
4. 持続可能な観光の推進	持続可能な観光の推進に貢献する。持続可能な観光の推進に貢献する。
5. 持続可能な観光の推進	持続可能な観光の推進に貢献する。持続可能な観光の推進に貢献する。
6. 持続可能な観光の推進	持続可能な観光の推進に貢献する。持続可能な観光の推進に貢献する。
7. 持続可能な観光の推進	持続可能な観光の推進に貢献する。持続可能な観光の推進に貢献する。
8. 持続可能な観光の推進	持続可能な観光の推進に貢献する。持続可能な観光の推進に貢献する。
9. 持続可能な観光の推進	持続可能な観光の推進に貢献する。持続可能な観光の推進に貢献する。
10. 持続可能な観光の推進	持続可能な観光の推進に貢献する。持続可能な観光の推進に貢献する。

GSTC基準「観光地用」	
項目	内容
1. 持続可能な観光の理解	持続可能な観光の概念を正確に理解し、環境、社会、経済、文化、観光資源の価値を認識し、持続可能な観光の推進に貢献する。
2. 持続可能な観光の推進	持続可能な観光の推進に貢献する。持続可能な観光の推進に貢献する。
3. 持続可能な観光の推進	持続可能な観光の推進に貢献する。持続可能な観光の推進に貢献する。
4. 持続可能な観光の推進	持続可能な観光の推進に貢献する。持続可能な観光の推進に貢献する。
5. 持続可能な観光の推進	持続可能な観光の推進に貢献する。持続可能な観光の推進に貢献する。
6. 持続可能な観光の推進	持続可能な観光の推進に貢献する。持続可能な観光の推進に貢献する。
7. 持続可能な観光の推進	持続可能な観光の推進に貢献する。持続可能な観光の推進に貢献する。
8. 持続可能な観光の推進	持続可能な観光の推進に貢献する。持続可能な観光の推進に貢献する。
9. 持続可能な観光の推進	持続可能な観光の推進に貢献する。持続可能な観光の推進に貢献する。
10. 持続可能な観光の推進	持続可能な観光の推進に貢献する。持続可能な観光の推進に貢献する。



2. 持続可能な観光の国際基準 (GSTC)の構造 Global Sustainable Tourism Council Criteria

①観光事業者

4つの重点分野

42基準

②観光地

4つの重点分野

38基準



2. A T に関する基礎知識研修

参加者アンケート

1. 今後アドベンチャートラベルガイドとして活躍していきたいですか。
具体的にどのように活躍して行きたいかをご記入してください。

1	△	興味はあるが、体力的な自信がない。
2	○	サイクリング、ハイキングなどの活動や文化体験などを合わせてできるようにしたい。
3	○	四国遍路のガイドとして活躍したい。
4	△	今現在思考中です。
5	○	案内する際は事前に下調べをし、地域の方からお話を聞き、海外の方へこの土地ならではの魅力を伝えていきたい。ネットにはない、地元民ならではの紹介の仕方を心掛けたい。 また、旅の中で、起承転結のストーリーを作ること、お客様自身が楽しむだけではなく、その方が旅行から戻った際には、誰か親しい人に伝えたい、その親しい人にもその魅力を知ってもらいたいと思えるコンテンツをどんどん紹介していきたい。そのために努力は惜しまない。
6	○	アドベンチャートラベルガイドの全体像が分からなかったのも、まずセミナーを聞きたかった。一般観光客のガイドの場合も、体験観光として観潮船に乗ったり、一部サイクリングも一緒にしている。その当時はリスクマネジメントなどは考えていなかった。今後体験型のガイドをする機会があれば、セミナーで指摘された点を取り入れたい。
7	○	今後アドベンチャートラベルガイドとして、インバウンドの方々に特に地元香川、そして四国の自然を見て、聞いて、感じていただき自己変革のようなもの、期待していた以上の感動を感じてもらえる案内ができたら幸いだと思っています。特に四国であれば、中央構造線の動きといったダイナミズムが四国山地を作り、降水や風の吹き方などの天候気候が各地の地形や独特の風土を生み出し、そこからそれぞれの地域に特有の生活様式、食文化、祭りなどの有形、無形の文化などが生まれたことなどについても知識も持っていて、体験を通じて「なるほど!」と実感してもらえるガイドを目指したいと思っています。
8	○	お遍路のガイドとして活躍したい。
9	○	来月高知県にてAT会社を起業します。スルーガイドとサポートガイド、e-bike 8 台とサポートカーにて、一つのテーマに沿って地域を駆け巡るスタイルです。 私個人は日本語、スペイン語のスルーガイドを務めつつ、英語のスルーガイドと周るときはサポートカーの運転などを務めるサポートガイド役に徹する予定です。
10	○	ふるさと四国を楽しんでいただくために、お客様の安全を確保した上で、ご要望に沿ってお迎えしたい。できればお客様ご自身も気づいていらっしゃるニーズを察知して、ご提案し、ご同意をいただいた場合は、業務の中でご提供したい。例、半日フリー行程で、地元民にとってはあたりまえの習慣、行動、食材等を、ずっとそこに住んでいるかのような体験として提供したい。
11	○	現在は徳島県でフルタイム勤務しているため、週末や長期休暇を生かしてガイド業務に携わりたい。 ATを四国で体験していただくことにより、その後の顧客の日常生活が変わる。ある種の自己変革が起きたり、インスピレーションを得ることができる。個々の顧客に寄り添ったガイディングをモットーに、四国ATのリピーターを増やすことに貢献できればと考えます。
12	○	高知県のい町に移住し、現在は地域おこし協力隊として活動していますが、任期後は今までの経験を生かせる観光業で様々なアウトドアアクティビティを提供する事業を考えています。地の利を生かして石鎚山系・仁淀川流域・吉野川流域で川・道・山でガイドとして活躍したと思います。
13	△	機会があればやってみたいが、まだまだ経験不足なので経験を積みたい。まだ自信が無い。
14	○	初めてそのアクティビティに触れる人でも経験がある人でも楽しめるガイドをしたい。
15	○	現在は会社員ですが、それとは別に宿泊施設を開く構想があります。空き家を生かし、自分の通訳案内士の知識、観光業での経験を生かしていけないかと思っております。アドベンチャートラベルの観点では、趣味である生け花やマリンスポーツも強みになるのではと感じ、今回は参加を希望しました。
16	○	現状、東京にて街歩き・市場ツアー・文化体験・ワークショップなどのアクティビティガイドをしています。 今後四国において、ソフトアクティビティのATガイドとして経験を増やし活躍していきたいと思っています。
17	○	今は本職があるので直ぐにはとは思いますが、大変興味はあります。また年齢的に体力の衰えも加味して、考えてみたいです。
18	○	海が好きなので、瀬戸内を中心とした島旅やその周辺の西日本を中心に活動していく予定です。
19	○	自然の中を散策、サイクリングなどのアドベンチャーガイドとして活躍したい。
20	×	自信がないのでまだ活躍できないと思う。
21	×	現在の業務（ガイドとは異なる本業）があるため、すぐなりたい訳ではない。
22	×	今は別の仕事をしているので、すぐガイドになりたい訳ではない。
23	×	今のところは考えていない。

2. A T に関する基礎知識研修

参加者アンケート

2. アドベンチャートラベルガイドとして活躍するために、今どんなことをしていますか。

1	カヌー、サイクリングコースの情報収集。
2	体力作りや外国語での表現を広げる練習。
3	セミナーへの参加を行い知識を高め、難易度が高くないツアーを引き受ける。
4	今はいろいろな情報を集めている段階。
5	ハイキング、サイクリングの実体験。
6	<p>クロスバイクで、四国内（特に三豊の荘内半島、小豆島の千枚田、三都半島、直島、豊島など）を県外や海外の友人に対して案内をしたことがあるので、そういった活動に携わりたい。</p> <p>瀬戸内国際芸術祭ではツアーガイドと添乗員としても活動しているので、アートの魅力とともに四国ならではの自然の魅力を伝えていきたい。</p> <p>歩き遍路なども各県でした経験があり、自然を案内することにも魅力を感じているし、唯一無二の四国の魅力的なコンテンツを今後も国内外問わず紹介していきたい。</p>
7	今はガイド箇所の英文の暗記や、歴史的背景、現在とのつながり等について準備しているので、特にアドベンチャートラベルガイドとしての準備はしていない。
8	まずは、地元香川のジオサイトについて、現地を見にいく、その地がそのような地形や地質となるに至った背景や歴史などを知るといったことを続けています。今後はそれを四国、全国に広げて行くつもりです。地質学、地理学などの学会が主催する各種研究会や講座が開かれれば、都合がつく限り参加しています。そして、インタープリターガイドとして効果的に説明できるように、語学のブラッシュアップとフィールドワークに耐えられる体力づくりも日々続けています。
9	体力をつける。
10	「中芸ゆずと森林鉄道日本遺産協議会」と共に高知県東部のコースを作成中です。中芸には世界のコンペで金賞をとった塩や日本酒などがあり、鮎も過去に二度日本一になっています。それは奈半利川、安田川という中芸に流れる2本の川の水質によるものですが、ではなぜ超軟水の素晴らしい水質が産まれるのか、という太いストーリーのもと、源流の山をトレッキングしその謎に迫ったり、e-bikeで地域を辿りながら伝統料理や温泉、江戸時代からの文化などを体験する4泊～のコースです。
11	<p>この2年半で、医療通訳士、野外災害救急法（WAFA Wilderness Advanced First Aid）、国際きき酒師を取得した。医療通訳士（R）は四国在住者として初めて認定された。患者が適切な医療を受けるために医療従事者と患者の橋渡しをする。</p> <p>WAFAは令和4年度愛媛県インバウンド対応ガイドスキルアップ講座で「10分で救急車が来ないところで何かあったら、あなたはどうしますか？そのために必要なスキルです」と講師に教えていただいて、四国島内では携帯すらつながらない場所も遍路道などにあるので、なるほどと思い取得した。</p> <p>このふたつは、お客様のご安全のために取得した。使わないことがベストであるが、最悪に備えておく。</p> <p>国際きき酒師は、ゆたかな自然の恵みをテロワールとしてお楽しみいただくために取得した。さまざまな蔵元の日本酒をおススメする時に活用したい。</p> <p>今後は、四国の自然をご案内するために、野鳥観察、樹木観察、星空観察などの学習をしたく、調べている。</p>
12	<p>実践面は乏しいですが、SHGA（四国遍路通訳ガイド協会）所属会員のため、協会を通じた研修や歩き遍路を要素に含めたATの在り方について学んでいます。</p> <p>ガイディングのスキル面についても座学ではある程度知識として継続して勉強しています。</p>

2. A T に関する基礎知識研修

参加者アンケート

2. アドベンチャートラベルガイドとして活躍するために、今どんなことをしていますか。

13	今年より様々なアクティビティを提供していこうと個人事業として開業しました。屋号は「やりたい事は今やっつけ！」で今まで趣味として行ってきた分野でのアクティビティを提供していこうとしています。カヤック・E-バイク・登山は現在でも個人の事業・委託の両方でガイドをやっています。インバウンド事業もガイド依頼や問い合わせがありますが、現在は英会話は全く出来ないなので、簡単な英会話の勉強や個人事業での通訳協力者としての人材探しを始めています。 Webサイト： https://hirofumitakenami.wixsite.com/website 最近では、簡単ですがWebサイトも作って集客を始めました。
14	全国通訳案内士取得に向けて、勉強をしています。
15	体験において役立ちそうな英語を学習したり、地域ごとの特色を調べている。
16	上述しました宿泊施設の構想を練っております。
17	各種ガイド研修やTourism講座の受講、語学のレベルアップ。（フランス語及び英語）
18	特になにもしていません。
19	瀬戸内に軸を置くべく香川県の地域限定通訳案内士からさらに講師認定もいただき、加えて今春には国際唎酒師の資格も取得しました。ただ訪れるだけでなく、お客様に合わせた地元との触れ合いや交流をお手伝いできるように、現地の声を聞けるように努めています。
20	体力づくりや、実際に歩き遍路をして遍路道への理解を深めています。また、ガイド団体にも所属しており、勉強会に参加しています。
21	島（小豆島、直島、女木島、男木島など）によく行き、自転車で島を巡る。異文化体験（醤油のテースティング、醤油作り、和三盆糖型抜き体験、讃岐のり染め、うどん作りなど）をする。瀬戸芸などのアーティストの方と直接お話をし、作品について勉強する。町の人と話をし町の特産物や昔の町の様子を知る。アメリカに17年滞在し、ライター、通訳、ガイドの仕事をしていたが、英検を取る勉強をしています。

2. A Tに関する基礎知識研修

参加者アンケート

3. アドベンチャートラベルガイドになるにあたって、自転車・ハイキング・川でのアクティビティ・海でのアクティビティ・異文化体験等、どの分野のガイドになりたいですか。体力、顧客対応力も含めて具体的に活躍して行きたい分野、その理由を記入してください。

1	体力面より、異文化体験のガイドをおこないたい。
2	時間があるときには自転車で移動することが多いので、サイクリングでの案内、また異文化体験も語学力を駆使して紹介したい。
3	ハイキングの専門家。
4	体力的にはあまり自信がないので、個人的には異文化体験の分野が一番あってと思います。
5	今現在思考中です。
6	自転車、ハイキング、川・海でのアクティビティ、異文化体験等、ある程度オールマイティにこなしていきたいがその中でも特に、自転車、ハイキング、異文化体験を伝えたい。 体力は週に3回ジムで2時間しているので、12番札所焼山寺を上げることも問題ない。また、サイクリングに関しても小豆島の三都半島1周や荘内半島1周も問題なくできたので、体力的にも自信がある。 顧客対応能力に関しては、添乗員経験は18年前から、ガイド経験は8年前から、海外へ四国の観光を広めるための誘致訪問をした際の旅行社の方の添乗も何度も行っているのでもそこは対応できると思われる。
7	67歳なので、体力を考えると、海、川、サイクリングなどは、慎重に考えたい。 神社、仏寺などでの異文化体験等は、自分が経験してから、ガイドになれるか考えていきたい。
8	ゆくゆくはできる範囲を広げていきたいと思っていますが、日本の山は里山にしても深山にしても、自然だけでなく山岳信仰など文化とも繋がっています。自然体験それだけでないところにインバウンドの方々の関心も深いのではないかなと思うので、そこをめぐる手段として自転車、ハイキングなどを条件に応じたガイドができるようになりたいと考えています。気象予報士でもあり、天体観測のインストラクションも経験があるので、科学的な視点でも山の楽しさを伝え、経験してもらえるのではないかと思います。何十人相手にインストラクションをするのも、状況を見極め臨機応変に対応していくことも、より顧客満足度を高めたいと日々意識して現在の仕事に従事しているので、その努力を更に続けていきたいと考えています。
9	ハイキング、異文化体験、遍路道を歩き、お遍路文化を伝えたい。
10	自転車（e-bike）、ハイキング、異文化体験です。 川や海ほど危険の伴うアクティビティに関しては、専門の事業者任せゲストと楽しみながら通訳することを考えています。
11	①自転車は家族の趣味でもあり、愛車トレック／ジャイアント（ロードレーサー）でし阿波ライド、しまんとライドなど大会に参加したり、しまなみ海道などを自走したりしている。パンクなどの修理ができないので、どうかと思っていたが、最近は電動アシスト付き自転車（Eバイク）が主流になってきているので、パンク等の修理を貸出業者へ頼むことができれば、対応できると思う。 ②ハイキング、異文化体験も対応したい。四国には遍路道があり、お接待の文化がある。 これは四国では日常でも、インバウンドを含め四国外のひとには異文化体験である。 遍路道は市街地の便利なところも、山の中や海辺の自然ゆたかなところもあり、地元民は歩き遍路は生活の一部として認識しているので、お互いに安心できる、しあわせな設定にある分野と思う。四国遍路道は断片的に歩いており、タクシー乗合遍路で一度結願している。 ③アートもなじみのない方にとってはアドベンチャーにもなりうると思う。瀬戸内国際芸術祭などで集積している作品を自転車でめぐることも魅力ある商品になるのではないかな？今年のオフィシャルツアーを日本語で担当していて、この経験は役立つと思う。
12	歩き遍路と絡めるとハイキングの分野を専門的にできるガイドになりたいです。T11藤井寺～T12焼山寺の山道を2022年3月に協会の研修で歩きましたが、体力に問題ありませんでした。5時間超の歩きでしたが森林浴しているみたいで脳内がクリアになり大変心地よかった。この経験をぜひお客様と共有したいです。

2. A T に関する基礎知識研修

参加者アンケート

3. アドベンチャートラベルガイドになるにあたって、自転車・ハイキング・川でのアクティビティ・海でのアクティビティ・異文化体験等、どの分野のガイドになりたいですか。体力、顧客対応力も含めて具体的に活躍して行きたい分野、その理由を記入してください。

13	<p>現在 58 歳ですが、若いころよりアウトドアスポーツは色々やってきました。自転車はロード・マウンテン カヤックはリバー・シー 登山は通常の登山は元より、クライミング・沢登り（溪流釣り含む）と長年やってきました。</p> <p>体力的にはすでにピークを過ぎてはいるのですが、知識と技術では若い人よりはあると思うので、初心者に向けたアウトドアアクティビティのガイドになりたいと思っています。</p> <p>Instagramで現在の活動状況はわかるとしています。 https://www.instagram.com/hiro.t.0627/</p>
14	<p>異文化体験に興味があります。</p>
15	<p>季節の風景や自然を感じるのが好きで体力にも自信があるので自転車やハイキングなど運動を伴うが実際に体で感じられるアクティビティが気になっている。個人的には住んでいない土地での経験や発見も好きで、例えば国内でも香川と東京での公共交通機関の数の差や街並みの違いなどもある意味では異文化体験であると考えていて、アクティビティとしての異文化体験の際にも考え方が役立てられるようにそういう身近なことについても常日頃から異文化について考えるようにしている。</p>
16	<p>この秋 49 歳になる身としましては、これから水辺でのアクティビティのガイディングを始めるのは体力的に考えると、「少し遅すぎ」感は否めません。が、シニアの方が体験的にアクティビティをされる場合には、あまり年の離れないガイドがご案内するのも悪くないかもしれないと考えております。生け花などの異文化体験やハイキング、SUPなどのガイディングに携わりたいと思っています。</p>
17	<p>ハードアクティビティのガイドをやり切る体力はないので（普通の体力）、ATの90%を占めるソフトアクティビティのアクティビティガイド・デイガイドを考えています。（スルーガイドは現状では子供が小さいため困難。将来的にはあり）</p>
18	<p>海や川でのキャンプは好きなので、アクティビティが出来ればと思いますが、ハンドリングを考えると自然相手は難しいのかと。そうすると異文化体験になるのかと思われます。</p>
19	<p>異文化体験を中心に、お客様のご要望に合わせて海や島などでのアクティビティを提供できればと考えています。瀬戸内側は、サイクリング初心者や現代アートがお好きな方達でも気軽に旅ができる素晴らしいところです。そういった目に見えるものだけでなく、水軍や島再生プロジェクトなど、現地の人々がどのように自然と接してきたか等の生きた情報をお客様にご提供していきたいです。</p>
20	<p>歩き遍路、自転車、ハイキング、異文化体験のガイドとして活躍したいです。お遍路文化がある四国に私自身も魅了されていてそれを外国人にも伝えたいからです。またお遍路を回っていると各エリア異なる生活様式や自然、食文化に触れることができ、お遍路とあわせてさまざまな魅力を一度に経験できるのが四国の魅力だと思います。</p>
21	<p>自転車に乗ったり、ハイキング（あまり高低差のない場所で）をしたりするのが好きなのことから、アクティビティガイド。また異文化体験を通じて、人を楽しませることが好きなので異文化体験。これらの分野のガイドになりたいです。実際に栗林公園を散策したり、直島を自転車で巡ったり、異文化体験を外国人の方にしていただくガイドをしています。</p>

2. A T に関する基礎知識研修

参加者アンケート

4. 本セミナーにて一番参考になったことは何ですか。

1	危機管理に関する情報。
2	リスクマネジメントの大切さと、自分のレベルに応じた無理のないガイドが必要であること。
3	リスク管理について。
4	体を動かすだけがアドベンチャーではないということ。
5	安全性の確認など。
6	リスクマネジメント、保険での対応に関して。緊急時の判断がスムーズのできるようになりたい。また、そのために日々救急救命法の研修を受けたり、ウィルダネスメディカルアソシエイツジャパンの講習も近いうちに受けたいと思う。
7	ガイド中に起こりうる事故などの可能性を事前に考えておくこと。できるだけ準備をしておくこと。連絡先、救急キット、合羽などを具体的に挙げてもらったこと。危険を参加者と共有するセーフティトークなど、参加者とコミュニケーションをとることの重要性、そして相手と信頼関係を築くこと、という言葉が一番印象に残った。
8	リスクマネジメント。
9	スクマネジメントの3段階ということで、当日の臨機応変な対応も何もかも事前の周知な準備と消防などの各種機関との連携が大切になること、参加者自身にもリスクを意識した行動を促すなどあらゆるものを上手に利用して「ありがとう」といってもらえるガイドを目指すことが大切なのだとということを実感できました。
10	お客様に説明をする際、退屈させないようにするコツ。
11	ガイドの心構えや優先順位のつけ方などが参考になりました。
12	①リスク管理。自分で全部を行わずに、外注して分散すること。 例、衛生管理のしっかりした業者へ食の部分委託する。 事故が起きた場合、ガイドにできることはわずかだが、精一杯共感して、寄り添って、できるかぎりのことをして、「Thank you.」と言わせる。そうすれば訴訟では示談ですむ。
13	アドベンチャートラベルにもハードとソフトがある。難易度の高い自然体験をすることがATの目指すべき姿とは限らない。顧客が初めての体験をすることにより、自分にとってのアドベンチャーを発見することが重要。それをアドベンチャートラベルと捉えたほうが発展させやすい。
14	アドベンチャーと言うとハードルが高いと思っていましたが、個人の感覚でどんな事でもアドベンチャーになるという事が新鮮でした。
15	大学で法学を学んでいるため、訴訟対応や保険についての話はとても面白く為になった。
16	荒井先生にはお忙しいなか示唆に満ちたお話をいただき、本当にありがとうございました。 ニーズに応えようとするのではなく、自分から出していく、見せていくスタンスがよいのではないかとのお言葉が心に響きました。
17	リスク管理と顧客の満足度アップの具体的手法。
18	"アドベンチャー"の概念。旅行者自身の発見、驚きを演出すること。
19	北海道と瀬戸内の違い、特に生物や自然の厳しさについてのコメントが興味深かったです。どれだけ注意していても事故は起こってしまうと聞きますので、そういった体験談を共有いただけるだけでも大変参考になりました。
20	荒井講師の危機管理についてのご説明。楽しく、アクティビティ化するというお話がためになりました。また安全のほか、ゲストの承認欲求を満たした上で、自己実現の欲求を満たせるという話は、覚えておきたいです。
21	危機管理について。危険を予測して行動したり、お客さまにあらかじめお伝えすること。また、訴えてくるお客様に対して、身を守る方法（損害賠償保険）。

2. A Tに関する基礎知識研修

参加者アンケート

5. アドベンチャートラベルガイドとして、セミナーで学んだどんなことを活かしていきたいですか。

1	想定される場面やトラブルを事前に確認し、お客様を安全にご案内すること
2	理論と経験をうまく組み合わせ、フレキシブルに対応していくこと。
3	安全管理についての事前準備
4	参加者にも協力してもらうこと。
5	ツアーの全体像を要領よく立案する。
6	顧客満足度を上げていきたい。自分の身を守り、お客様の身も守れるように、瞬時の判断を大切にしたい。
7	以前ガイドをしたときは、対象物に関する知識に重点を置いて準備していたので、リスクマネジメント、ガイドをする時の立場、方法を考え、準備をするという視点が欠けていたことに気づいた。今後はセミナーで学んだことを活かしていきたい。
8	
9	アドベンチャートラベルにおいて、ガイドが顧客の自然体験、異文化体験を通じた自己変革にまで関わりうるのだと言うことに改めて気づけました。マズローの5段階欲求についてもわかりやすく解説していただいたので、いかに山を楽しんでもらえるか、顧客の方に何かを発見してもらえよう不確定要素が多い中で、最低限満たしておかなくてはならない条件をどのようにクリアしていったら良いのかということをやリシンブルに、確実に考えて準備をしようと思っています。
10	ガイドの心構えや優先順位。
11	体を動かすだけがアドベンチャーではないということ。
12	マズローの5大欲求に照らし合わせた安全管理の説明は大変腑に落ちた。リスクマネジメントはガイドひとりが負うべきではない、参加者全員でリスクを負うからガイドはさまざまな配慮が可能になる、という視点を実践の場でぜひ活かしたいです。
13	日本ではガイドだけで生きていくことは難しいと思いますが、いろんな仲間作りや協力者を作っていくこと（関係性の構築）、日本でガイド業で生計を立てる方法（どんな事でもアドベンチャーとして提供できる事は1年を通して仕事が確保できるのでは？）を模索していこうと思っています。
14	今回のセミナーで何度か仰られていた、ガイドとして説明をする際に長々と話すだけではなく実際に物を見せたり行動として示すことで興味を持ってもらうという視点は大事だと思ったのでそれを忘れずに活かしていきたい。
15	できる準備は全て行い、事故が起きた場合はやれることを全てして精一杯対応する、とリスクマネジメントのお話のなかで伺いました。基本でありながらその体制を常に維持するのは骨が折れると思いますが、どのビジネスにおいても、とても大切なことであると思いました。
16	今回のお話は、ATガイドだけではなく、一般的なガイド業務の改善に当てはまる事項が多かったと思います。ATとしては、リスクマネジメントが非常に重要になるので、そちらを特に活かしていこうと思っています。
17	インストラクターとしての知識を増やすこととファシリテーターとしての、洞察と発想。
18	学んだすべてを活かしていきたいと考えています。
19	一生に一度の機会と思って来られたゲストのために、その価値観にふさわしいサービスを提供できるように心して臨みたいと思いました。自分でできる準備や安全管理を万端にして、私自身もツアーを楽しめるようなガイドになっていきたいです。
20	対象者を理解すること（自己実現、承認、所属と愛、安全、生理的）。これらを満足していただけないと、不満が残ること。

2. A T に関する基礎知識研修

参加者アンケート

6. 今後似たようなセミナーがあれば、どんなことを聞きたいですか。

1	具体的にどのぐらい需要があるのかを知りたい
2	成功例、失敗例といった豊富な体験談
3	山岳ガイドのスキル
4	保険関係について。
5	現場の生の声を聴きたい。実際の失敗談、逆にお客様がどんなことで喜んだかを知りたい。
6	以前ガイド中に体験したトラブルがあれば、その例、対処したことを教えてもらえたらありがたいです。
7	総論ではなく、具体例を踏まえての知識を増やしたい。
8	今回も、大雪山でのガイドの際の具体例を話していただきました。ガイドする場所によって、ガイドの相手によって必要とされる対応は変わるのだと思いますが、根底にある意識しておかなければならないこと、準備などは共通すると思うので、さまざまな具体例を聞いてみたいと思いました。
9	現場で起きたアクシデント、クレーム事例とその解決プロセスの共有
10	受け入れ側の協力体制づくりをストレスなくやる方法。ガイドが気を付けるべき点はどんなことがあるか？事前にここまでやっておくと事故／苦情／問題になりにくい、など。案内当日の成果を高めるためにふだんからできること、しておくべきこと、心構え、等。
11	ツアーの値段設定は悩む所ではあります。 そんなセミナーがあったら受けたいです。
12	セミナー前にいただいた書類にありました、非言語コミュニケーションやミッション、ビジョン、ガイドプログラムの企画に関するお話も荒井先生より伺いしたかったです。 また、今回は日程的に応募できませんでしたが、ハイキングの実地研修には、機会があれば是非参加させていただきたいです。
13	これまでに、数回ATガイド講座を受講しました。実際にATガイドに必要となる、エイドの研修はぜひ受けたいです。また、実際の各アクティビティで必要となる説明・事例など実用的な講座はなかなかないので、受けてみたいです。
14	先輩方の体験談や特定地域ならではのお話や豆知識などをもっと聞かせていただきたいです。
15	ベテランガイドさんのヒヤリハットや失敗談など、なかなか教えていただけないのですが、そういうのがあれば伺いして、自分自身の身に置き換えて考えられるような機会があればいいと思っています。
16	困ったことの多くの事例とそれに対する対処方法について。

2. A T に関する基礎知識研修

参加者アンケート

7. 似たようなセミナーが開催された場合、話を聞きたい講師はいますか。
講師がいる場合は、具体的な講師名を記入してください。

1	経験豊かな方ならどなたでも。
2	モートン・ジョージ先生 大山愛先生。
3	徳島の祖谷でゲストハウスをやっている外国人の方。(お名前は分かりません)
4	http://www.wildmed.jp/member.html の横堀勇氏。 https://atjapan.org/news/2020/0901268 の日本アドベンチャーツーリズム協議会の代表大西雅之氏。 アートディレクター 北川フラム氏。
5	すみません、具体的なお名前を上げることはできないのですが、八ヶ岳などで山岳ガイドをされている方々の話が聞けたら良いなと思っています。国際山岳ガイドの資格や経験をお持ちの方だったら尚更嬉しいです。
6	株式会社インアウトバウンド仙台・松島 西谷雷佐氏。
7	まだまだ知識が浅く存じません。 その分野で活躍をされている方で、講義が楽しい方をお願いします。
8	登山ガイドとして活躍されている方のお話をお聞きしたいです。
9	馬上千恵氏。

2. A Tに関する基礎知識研修

参加者アンケート

8. セミナーでは聞けなかったが、アドベンチャートラベルガイドなるにあたって何かご質問がありますか。

1	必要な資格関連について知りたい。
2	個人で仕事を受ける際の保険に関して。ウォータースポーツや山岳ガイドをする際の危険度とその回避方法。
3	リスクマネジメントの話の際に事前にあらゆる可能性を考えて準備をしておっしゃっていたので、どこまで可能性を辿っていらっしゃるのかをもう少し伺いたかったです。自分だと、どこまで考えても心配が尽きないと思ってしまうので。
4	GPS機能のついた電話について少し触れられていましたがずいぶん高額のようにでした。詳しい情報があれば知りたい。
5	ATガイドはすでに全国に大勢いらっしゃると思いますが、四国のATガイドにとくに求められる資質があるとしたらそれは为什么呢？ もしくは、もしご自身が四国でATガイドするとしたらどのような点に着目されますか？
6	ツアーの適正価格の収集・価格設定はどのようにされているのか知りたい。
7	旅行会社で想定されているガイドの最低条件（年間の最低達成契約日数、スルーガイド重視のオールラウンド型がメイン対象か、エリア限定も対象かなど）があればお知らせください。

3.体験型プログラム等のガイド育成

概要

体験型プログラム等のガイド育成_専門家及び実施概要

ターゲット層に向け、これまでの取り組みで造成された旅行商品（PSAに採用された四国のモデルコース、R3年度お遍路×SDGs×ATをフックとした誘客促進事業にて造成されたコース）の現場にて、観光知識向上、モダンラグジュアリー層から想定される要望とその対応、経験値から得られる柔軟性向上等のスキルアップを目指し、体験型実践研修を実施した。

専門家

AT専門家



Shanonn Walker氏（栃木県在住）KODO TRAVEL

ニュージーランド政府観光局東京オフィスにて長年と務めた経験があり、100% Pure New Zealand」という世界的なキャンペーンを成功させたトップランクのマーケティング専門家。2019年に日本のアドベンチャー旅行を欧米豪の観光をターゲットに企画・販売・案内するKODOを設立し、日本を訪れる欧米豪のアドベンチャー旅行者の知識も豊富に持っている専門家。過去に、箱根DMOや八幡平DMOと一緒にATガイドトレーニングを行う実績も多数ある。



馬上 千恵氏（北海道在住）M's English 代表 通訳案内士、英語講師、森林インストラクター。

知床半島でネイチャーガイドを経験や森林ガイドとして12年以上の経験。北海道運輸局実施の『北海道アドベンチャートラベル』ミーティングの講師、高知県実施の『アドベンチャーツーリズム』推進事業の講師、札幌圏アドベンチャーツーリズム戦略会議、地域の観光人材のインバウンド対応ースキルアップ研修や島総合振興局のインバウンドアドバイザー／道新文化センターの講師等様々な役割にて日本全国にアドベンチャートラベルの専門家として活躍中。

ターゲット層に対するガイド経験豊富な旅行会社スタッフ



カナル・サンジーブラズ氏（ネパール出身）(株)穴吹トラベル

2013年に来日し、2015年から四国の観光業界に従事。2016年に世界中のExtreme Adventureの旅行企画・手配している旅行会社の担当者と一緒に『World Adventure Society (WAS)』を始める。41カ国に広がるWASにて世界中のアドベンチャー旅行の情報・顧客対応・企画から旅行案内までの流れ、リスクマネジメントやテクニカルスキルに関して常に情報交換・ガイドトレーニング等を行っているWorld Adventure Societyの日本大使として活動している。



ロッドウォルターズ氏（愛媛県在住）四国ツアーズ(株) 代表取締役社長

来日から30年、四国に住み始めて20年、観光事業者へのコンサルティング業務や四国の観光情報の発信を始めて10年経過。四国内の観光関係者とのネットワークを活用し、外国人目線で多くのコンテンツ開発を経験。2020年7月に旅行会社を設立し、インバウンドに特化したツアーオペレーターとしてツアーの造成から販売まで一貫した旅行サービスを開始。AT旅行商品を造成、販売している。

実施時期・場所

【実施日時】 令和4年10～11月

【場 所】 ①10月22日(土) (日帰り) / 愛媛県：しまなみ海道1回（PSAで採用されたコースの一部）
②10月23日(日) (日帰り) / 愛媛県：石鎚山 1回（PSAで採用されたコースの一部）
③10月29日(土)～30日(日) (1泊2日) / 高知県：仁淀川エリア1回（PSAで採用されたコースの一部）
④11月5日(土)～6日(日) (1泊2日) / 高知県：中津渓谷エリア1回（R3年度お遍路×SDGs×ATをフックとした誘客促進事業で造成したコースの一部）

【対 象 者】 ATツアーへのガイド希望者（英語力が地域通訳案内士レベル以上）

【募集方法】 ATガイドツアーへのガイド希望者リスト登録者（ATガイド情報登録者）に対して、募集広告＆グーグルフォームによる申し込み

【参加者数】 各回5名以上

【実施方法】 上記専門家候補が、各コース2名参加。基本的に研修時の会話は全て英語。

1名がお客様役、1名がAT講師となり、ガイド希望者に対して旅行商品となる現場で実践型ロールプレイング形式で育成を実施。

3.体験型プログラム等のガイド育成

第1回 体験型実地研修

第1回アドベンチャートラベルガイド体験型実地研修（しまなみ海道）

<実施要領>

- 1. 日程 2022年10月22日（土曜日）
- 2. 講師 AT ガイド 馬上千恵氏（Ms' English代表）
- 3. 進め方 現地において講師がしまなみ海道を知らないお客様の目線で質問する「なぜ？・何？」に対して研修参加者が準備した短い言葉でガイディングし、講師の助言をもとにしまなみ海道の自然や歴史などの魅力をどう伝えるのかについて、参加者が気づきを共有することを繰り返して研修を進めます。
- 4. 参加費 実地研修参加費は無料です。行程内の経費は主催者が負担します。但し、集合場所までおよび解散場所までの交通費は各自の負担です。尚、愛媛県外からの参加者が今治に前泊する場合には8000円（税込み）を限度に宿泊代を補助します。
- 5. 参加人数 4名
- 6. 企画実施 株式会社穴吹トラベル
- 7. 集合場所 今治市砂場町2-8-1サンライズ糸山（下記地図参照）
- 8. 集合時間 午前9時
- 9. サポート コーディネーター 中野隆、得能政史
- 10. 実施主体 一般社団法人 四国ツーリズム創造機構



<行程表>

時 間	行程	備考
09:00 09:30 10:00 10:30	サンライズ糸山 集合 サンライズ糸山 発 WAKKA 着 サイクリング スタート 生樹の御門、大山祇神社参拝 マリンオアシス伯方 休憩	講師紹介、行程・注意事項案内後、 専用車にてサイクリングベース「WAKKA」へ 自転車セッティング・注意事項案内後 専用車・サポートカー並走 講師、スルーガイド、サイクリングガイド同行
13:00 14:00	昼食：能島水軍レストラン	
14:00 15:00 16:30 17:00	宮窪港 観潮船乗船 (所要時間50分) 宮窪港サイクリング再開 来島海峡大橋 サンライズ糸山 着 各自解散	能島水軍が活躍した激しい潮流を体験

3.体験型プログラム等のガイド育成

第1回 体験型実地研修

第1回アドベンチャートラベルガイド体験型実地研修 (しまなみ海道)

・サイクリングコース紹介 (大三島から今治(サンライズ糸山)まで) 距離: 約 50km

所要時間: 約 6 時間(見学体験合)



※レンタルEバイク(事前に身長を伺います)

ヘルメットは、準備しています

【必要な携行品や装備】

サイクリングに適した服装、着替え・水ボトル
日焼け止め・サングラス・レインウェア(上下)
あれば、サイクルパンツ・グローブ

研修の様子



WAKKA



しまなみ海道



大山祇神社



大山祇神社



能島水軍レストラン



観潮船

3.体験型プログラム等のガイド育成

第1回 体験型実地研修

参加者アンケート

項目	参加者①	参加者②	参加者③
1. Please write your full name. ／お名前を教えてください。	山口真理	Isao Murashita, 村下 治	広瀬 雅旨
2. How likely is it that you would recommend the training event to a friend or colleague?／今回のガイド育成講座を友人や同僚に薦める可能性はどの程度ありますか? (7非常に薦めたい、4どちらでもない、1全く薦めたくない)	5	6	6
3. Overall, how would you rate the training event?／全体的に、今回のガイド育成講座をどのように評価しますか?	良い	とても良い	とても良い
4. What did you like about the event?／この講座のどこが良かったですか?	しまなみ街道、各島についての歴史、文化、食をサイクリングを通じて学べるところが大変良かったです。	外国の方々はどのタイミングで、どういった質問をしてくるのかということ、をシミュレーションできたと思います。	実地での対応とATガイドの方の経験による方法論
5. What did you dislike about the event?／この講座のどこが良くなかったですか?	サイクリングの距離が長い気がいたしました。潮流も早さを感じることができないようであれば、外してもよいかもしれませんと感じました。	予め、サイクリングガイドさんとの綿密な打ち合わせをしておいた方がいいと思いました。	自転車に乗る時間を削ってでも、実地対応の時間をとったほうが良いと感じます。
6. How organized was the training event?／この講座はどの程度うまく運営されましたか? (1非常にうまく運営できている、4どちらでもない、7全く運営できていない)	3	3	3
7. Prior to the training event, how much of the information that you needed did you get?／ガイド講座育成実施日の前に必要な情報はどの程度入手できましたか。(1必要以上に情報が入手できた、4最低限の情報が入手できた、7全く情報提供されていない)	3	2	3
8. Was the cycling course too long or too short or about right?／自転車のコース長さに関してご意見を聞かせてください。(1とても短い、4丁度良い、7とても長い)	2	4	5
9. Was the cycling course too easy or too difficult or about right?／自転車のコースの難しさに関してご意見を聞かせてください。(1簡単すぎる、4丁度良い、7難しすぎる)	6	4	2
10. Do you have any suggestions about the cycling route, difficulties and any other parts?／行程、難しさやその他に関して何かご意見があればお聞かせください。	ママチャリタイプの電道自転車を借りることができるなら、そちらの方が楽な方もいらっしゃるのではないかと感じました。	もう少し旅程を削って、自然を楽しんだり文化施設(このルートの場合は大山祇神社)などに時間をかけられる方がいいかもしれません。	ツアーの目的が自転車ではなく地域を知るであれば、コースを短くしてでも地域と触れ合うスポットをもっと増やした方がいいと思います。 自転車走行中の説明は慎重であるべきだと思います。言語の問題、ルールの違いで事故が起きる確率が上がると危惧します。第一優先すべきは安全に終点までガイドすることでは。 ガイドライダーは、どのような状況でも先頭を走れるようなバイク選びが必要だと思います。
11. What part of the training event did you find extremely useful OR extremely unuseful?／この講座で一番役に立つこと、一番役に立たないことがあれば、お聞かせください。	瀬戸内の多島美を見ながら橋を渡れるのは、外国人の方々に忘れたい経験になると思いました。特に夕方はとても美しい光景を楽しんでいただけたと思いました。潮流体験も、最も流れの速い時間にあわせてプランを組むと、さらにより体験になるのではないかと感じました。	どういうタイミングで、どのようにお客さんに英語で説明を進めていくべきか、実際現場に出てみないと分からないことなので、考えることは多くありました。	ATガイドの方の具体的な説明資料と質疑応答は非常に新鮮でした。役に立たなかったものはありません。
12. How do you plan to use the knowledge you gained during the training in the future?／この講座に参加して得た知識はどのように使っていきたいですか。	サイクリングをしながらしまなみ街道や各島、瀬戸内海について、食や歴史、文化、潮流体験を通して感じていただけることを確信できました。サイクリングをしたいお客さまに、ぜひおすすめしたいです。	この講座で得た知識、感じたことはしまなみ海道だけではなく、様々な場面で応用できると思うので、是非活かしていきたいと思います。	機会があれば実地で海外の方に楽しんでいただきたい。
13. The "Organization for Promotion of Tourism in SHIKOKU" is creating a page to register local guide's information. It will be a platform for the visitors, who want to book or interact with Shikoku's local Adventure Guides. Do you wish to register on this page?／本事業の主催者である四国ツーリズム創造機構がウェブページのプラットフォームを作ってローカルガイドの情報を掲載する予定があります。あなたの情報を掲載してよろしいでしょうか。(可能な方には四国ツーリズム創造機構からご連絡をします)	よい	よい	よい
14. If there is anything you like to mention, please write below.／その他何かありましたら自由にご記入ください。	交通ルール、自転車の乗り方などは、先生が使用されていたイラストをあらかじめお見せできたら、時間の節約になり、わかりやすいと思いました。生物の難しいお客さまに、他にもオススメの食事があれば、とてもよいと感じました。	サイクリングガイドの方、外国人役の馬上さん、また裏方でサポートしていただいた方々に改めて感謝しております。ありがとうございました。	貴重な時間を作っていただきありがとうございました。 目から鱗的なことが多々あり、視点の違いによる盲点が多々あり勉強になりました。

3.体験型プログラム等のガイド育成

第2回 体験型実地研修

第2回アドベンチャートラベルガイド体験型実地研修（石鎚山系）

<実施要領>

1. 日程

2022年10月23日（日曜日）
2. 講師

AT ガイド 馬上千恵氏（Ms' English代表）
3. 進め方

現地において講師が石鎚山系を知らないお客様の目線で質問する「なぜ？・何？」に対して研修参加者が準備した短い言葉でガイディングし、講師の助言をもとに石鎚山系の自然や歴史などの魅力をどう伝えるのかについて、参加者が気付きを共有することを繰り返して研修を進めます。
4. 参加費

実地研修参加費は無料です。
但し、集合場所までおよび解散場所までの交通費は各自の負担です。
尚、愛媛県外からの参加者が松山などで前泊する場合には8000円（税込み）を限度に宿泊代を補助します。
5. 参加人数

4名
6. 企画実施

株式会社穴吹トラベル
7. 集合場所

上浮穴郡久万高原町相の木26 おもごふるさとの駅（下記地図参照）
8. 集合時間

午前9時30分
9. サポート

スルーガイド ロッド ウォルターズ
サイクリングガイド 越智健二
コーディネーター 得能政史
10. 実施主体

一般社団法人 四国ツーリズム創造機構



<行程表>

時 間	行程	備考
09:30	おもごふるさとの駅 集合	講師紹介、行程・注意事項案内、 自転車セッティング後、スタート 専用車・サポートカー並走 講師、スルーガイド、サイクリングガイド同行 石鎚神社参拝 専用車にて昼食場所へ
10:00	おもごふるさとの駅 着 石鎚スカイラインヒルクライム	
12:00	石鎚山土小屋 ゴール	
12:30	石鎚山土小屋 発	瓶ヶ森・UFOラインを望みながら、アクティビ ティの案内と今回の振返り
12:40	昼食：山荘しらさ	
13:30	山荘しらさにて振返り	
14:30	山荘しらさ 発	
15:10	おもごふるさとの駅 着 解散	

3.体験型プログラム等のガイド育成

第2回 体験型実地研修

第2回アドベンチャートラベルガイド体験型実地研修（久万高原）



研修の様子



おもごふるさとの駅



おもごふるさとの駅



石鎚山スカイライン



土小屋



昼食：山荘しらさぎ



山荘しらさぎ

3.体験型プログラム等のガイド育成

第2回 体験型実地研修

アンケート結果

項目	参加者①	参加者②	参加者③	参加者④
1. Please write your full name. ／お名前を教えてください。	村下 治	田村成業	坂本彩華	今泉朋子
2. How likely is it that you would recommend the training event to a friend or colleague?／今回のガイド育成講座を友人や同僚に薦める可能性はどの程度ありますか? (7 非常に薦めたい、4どちらでもない、1全く薦めたくない)	6	7	6	7
3. Overall, how would you rate the training event?／全体的に、今回のガイド育成講座をどのように評価しますか?	とても良い	素晴らしい	とても良い	素晴らしい
4. What did you like about the event?／この講座のどこが良かったですか?	自然の美しさを楽しめ、またそれを参加者全員で共感できるルートだったのが一番です。	サイクリングがどんなものかイメージ出来たこと。	石鎚山そしてヒルクライムの体験自体が初めてでしたので、この講座を通して石鎚山ヒルクライムの体験が出来たこと、アクティビティガイドさんに(竹並さん)にローカル情報を教えて頂いたこと、また英語でのガイディングのトレーニングも出来たことが良かったです。ガイド仲間との交流も出来たこともまた良かったです。	石鎚山のヒルクライムを経験できたこと。
5. What did you dislike about the event?／この講座のどこが良くなかったですか?	Eバイクのバッテリーが切れた際の対応が、携帯電話の電波が届かない場所の場合、困難であると身をもって知りました。	もう少し英語を話す機会があればより素晴らしかったのではと思います。	気になった点は、メインのアクティビティガイドさんがあまり石鎚山やこの体験についての知識がなく(研修中のやりとりでクエスチョンに答えられないことが多かった)、個人的に竹並さんに伺わなければ情報を得られませんでした。研修中に、ローカル情報を竹並さんなど詳しい方からもっと発信してもらえた方が研修生全員が学べると思いました。 アクティビティガイドさんからの次の目的地や休憩スポット(どれくらい走って休憩をとる)などの行程案内が毎回あいまいで、どれくらい走れば次の休憩場所にたどりつけるのかが分からず、ペース配分お客様への行程管理が難しいと感じました。 アクティビティ開始前のブレーキの説明の他、安全面の注意点などの説明が不十分と感じました(走行中の自転車同士のとるべき距離、車に追い越してもらえるように列の真ん中を空ける、など)安全面はとても重要だと思う。	石鎚神社を参拝する時間があれば良かったです。
6. How organized was the training event?／この講座はどの程度うまく運営されましたか? (1非常にうまく運営できている、4どちらでもない、7全く運営できていない)	2	1	2	6
7. Prior to the training event, how much of the information that you needed did you get?／ガイド講座育成実施日の前に必要な情報はどの程度入手できましたか。 (1必要以上に情報が入手できた、4最低限の情報が入手できた、7全く情報提供されていない)	2	3	2	2
8. Was the cycling course too long or too short or about right?／自転車のコース長さに関してご意見を聞かせてください。(1とても短い、4丁度良い、7とても長い)	3	4	4	5

3.体験型プログラム等のガイド育成

第2回 体験型実地研修

アンケート結果

項目	参加者①	参加者②	参加者③	参加者④
9. Was the cycling course too easy or too difficult or about right? / 自転車のコースの難しさに際してご意見を聞かせてください。(1 簡単すぎる、4 丁度良い、7 難しすぎる)	5	4	4	4
10. Do you have any suggestions about the cycling route, difficulties and any other parts? / 行程、難しさやその他に関して何かご意見があればお聞かせください。	土小屋から山荘しらすまでのルートが狭く、路面も悪いのでここは少し時間をかけて行った方がいいかもしれません。	バッテリー切れのトラブル対応	平均的な体力のある人には問題なく楽しくサイクリングができるコースかなと思います。	帰り道も自転車でスタート地点まで戻れたら気持ちよかったです。
11. What part of the training event did you find extremely useful OR extremely unuseful? / この講座で一番役に立つこと、一番役に立たないことがあれば、お聞かせください。	Eバイクの強いところ、弱いところ両方体験できたことはよかったです。	無し	石鎚ヒルクライムを一度体験できるので今後自分でもガイドする際に準備がしやすい。	講師の方が、聞かれそうなことをどんどん聞いてくださり、自分が足りない部分への気づきがたくさんありました。食事場所での料理の説明がもっとあればよかったです。
12. How do you plan to use the knowledge you gained during the training in the future? / この講座に参加して得た知識はどのように使っていきたいですか。	Eバイクを使うツアーというのはこれから需要が増えてくると思います。今回得た知識を応用していこうと考えております。	インバウンドガイド	そのままガイド時に使えると思います。	講師の方のツール、ビジュアルを活用する点を自分でも実践したいです。どうしてそこを訪問するのか、ゲストに明確に伝わるように心がけたい。
13. The "Organization for Promotion of Tourism in SHIKOKU" is creating a page to register local guide's information. It will be a platform for the visitors, who want to book or interact with Shikoku's local Adventure Guides. Do you wish to register on this page? / 本事業の主催者である四国ツーリズム創造機構がウェブページのプラットフォームを作ってローカルガイドの情報を掲載する予定があります。あなたの情報を掲載してよろしいでしょうか。(可能な方には四国ツーリズム創造機構からご連絡をします)	よい	よい	よい	よい
14. If there is anything you like to mention, please write below. / その他何かありましたら自由にご記入ください。	サイクリングガイドの方、外国人役の馬場さん、また陰で支えてくださった裏方の方々には感謝しております。ありがとうございました。	ありがとうございました。とても充実した研修に感謝申し上げます。	今回は素敵な機会を頂きありがとうございました。四国のガイドさんみなさんが全体的にレベルが上がるようにしていきたいですね。	少人数で実践に重きを置いた研修はこれまで受けたことがなく、大変貴重な機会でした。ATのゲストの求めることなども、講師のことから聞いて新しい発見があり勉強になりました。ありがとうございました。

3.体験型プログラム等のガイド育成

第3回 体験型実地研修

第3回アドベンチャートラベルガイド体験型実地研修（仁淀川流域）

<実施要領>

1. 日程 2022年10月29日（土曜日）～30日（日曜日）1泊2日
2. 講師 AT ガイド 馬上千恵氏（Ms' English代表）
3. 進め方 現地において講師が仁淀川流域を知らないお客様の目線で質問する「なぜ？・何？」に対して研修参加者が準備した短い言葉でガイディングし、講師の助言をもとに仁淀川流域の自然などの魅力をどう伝えるのかについて、参加者が気づきを共有することを繰り返して研修を進めます。
4. 参加費 実地研修参加費は無料です。初日の夕食を除き行程内の経費は主催者が負担します。但し、集合場所までおよび解散場所までの交通費は各自の負担です。尚、高知県外からの参加者が高知に前泊する場合には8000円（税込み）を限度に宿泊代を補助します。
5. 参加人数 4名
6. 企画実施 株式会社穴吹トラベル
7. 集合場所 高知駅集合（右記地図参照）
8. 集合時間 午前8時30分
9. サポート スルーガイド ロッド ウォルターズ
SUPガイド 佐々木弘道
コーディネーター 得能政史
10. 実施主体 一般社団法人 四国ツーリズム創造機構



<行程表>

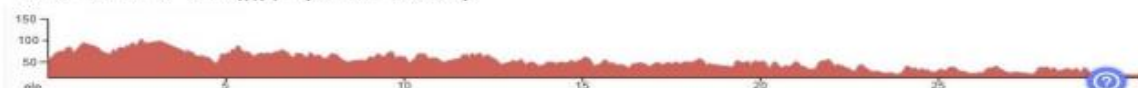
月日	時 間	行 程	備 考
10/29 (土)	08:30	高知駅北口 集合 高知駅 発	専用車にてスタート地点へ。 車内にて、講師紹介、安全面、必要事項 等々案内
	09:30 10:00	宮の前公園(スノーピークかわの駅おち)着 サイクリング スタート 仁淀川流域サイクリング 浅尾沈下橋 名越屋沈下橋	各自の自転車セッティング後、スタート 専用車・サポートカー並走 スルーガイド・サイクリングガイド同行 仁淀川沿いをサイクリングします。 距離：約30km所要時間：約2時間30分
	12:30	いの町 ゴール	
	12:30 13:30	昼食：うお兼	地元食材を使ったランチ
	13:35	いの町紙の博物館 着 手渡し和紙体験 いの町紙の博物館 発	うお兼より徒歩移動 所要時間：約1時間
	15:00 15:30	リッチモンドホテル高知 着	
	18:00 19:30	夕食：地元居酒屋	リッチモンドホテル高知泊
10/30 (日)	08:00	朝食後、ホテル 発	専用車にて、SUGGOI SPORTSへ
	08:30 09:00	SUGGOI SPORTS 着 サップ スタート	サップ準備 仁淀川のリバーサップを体験します。 距離：約 4 km 所要時間：約 2 時間
	12:00	サップ 終了	
	12:30 13:30	昼食：SUGGOI SPORTS	
	13:30	SUGGOI SPORTSにて 2 日間の振返り SUGGOI SPORTS 発	
	15:30 16:00	高知駅 解散	

3.体験型プログラム等のガイド育成

第3回 体験型実地研修

第3回アドベンチャートラベルガイド体験型実地研修 (高知県)

・アクティビティの紹介 (サイクリング)



・越智町宮の前公園から「いの町」まで。

距離：約 30km 所要時間：約 2 時間 30 分

※レンタルEバイク(事前に身長を伺います)・ヘルメットは、準備しています。

【参加者が用意する携行品や装備】 サイクリングに適した服装、着替え・水ボトル・日焼け止め・サングラス・レインウェア(上下)・あれば、サイクルパンツ・グローブ

・アクティビティの紹介 (サップ：スタンドアップパドルボード)



・サップベース SUGGOI SPORTS から「いの町」波川公園まで 距離：約 4km 所要時間：約 3 時間

※ウェットスーツ、シューズ・ライフベスト・ヘルメット・ボード、パドルは、準備しています。

【参加者が用意する携行品や装備】 ウェットスーツの下に着る水着・着替え・バスタオル、タオル

日焼け止め・コンタクトレンズの方は、ゴーグルや替えレンズ・メガネの方はメガネストラップ

研修の様子



かわの駅おち



仁淀川流域サイクリング



うお兼



いの町紙の博物館



SUGGOI SPORTS



サップ

3.体験型プログラム等のガイド育成

第3回 体験型実地研修

アンケート結果

項目	参加者①	参加者②	参加者③	参加者④
1. Please write your full name. ／お名前を教えてください。	坂本 文子	芝山良子	竹並 広文	今泉朋子
2. How likely is it that you would recommend the training event to a friend or colleague?／今回のガイド育成講座を友人や同僚に薦める可能性はどの程度ありますか？（7非常に薦めたい、4どちらでもない、1全く薦めたくない）	7	7	6	7
3. Overall, how would you rate the training event?／全体的に、今回のガイド育成講座をどのように評価しますか？	素晴らしい	素晴らしい	とても良い	素晴らしい
4. What did you like about the event?／この講座のどこが良かったですか？	お天気に恵まれたこと、終始和やかな雰囲気だったこと、アクティビティガイドが良かったこと、講師・スタッフが優秀だったこと。	テーマが明確であった。 （実際に想定し講師がネイティブ役を演じ研修生が英語で通訳する） 馬上講師の指導が秀逸。 （なぜ？の質問のポイント、どんな事をよく訊かれるか、行動・思考の仕方における日本人との違いと対処法） 馬上講師のご経験に基づくATのあるべき姿についてのご見解、こんなふうにするという指導に終始一貫性があり、とても説得力があった。 北海道のATガイドと取り巻く環境の実情についても多くを情報共有してくださり、四国と比較して今後の展望を考えるうえで大変有益になると感じた。 講師・スルーガイド・アクティビティガイド・ランドオペレーター・DMOの関係性や立ち位置、それぞれの持ち場をどう動かしておられるのか、実践を通して少なからず知ることができた。	英会話が全く出来ないもので、アクティビティガイドとしての勉強がメインですが、自転車のガイド・SUP共に自分とは違うやり方や考え方を体感出来たのは新鮮でした。	スルーガイド役のRodさんのガイディングがお手本としてためになりました。他の通訳案内士の方のガイドを見る機会もなかなかなく、勉強になりました。SUPは初めてだとガイドはできないと思うので、今回経験できたのが良かったです。
5. What did you dislike about the event?／この講座のどこが良くなかったですか？	特にありません。 受講生がもう2、3名いるとなおよかったかもしれません。	研修生として自分の準備不足がもっとも悔やまれます。	特に良くない所はありませんでした。	なし
6. How organized was the training event?／この講座はどの程度うまく運営されましたか？（1非常にうまく運営できている、4どちらでもない、7全く運営できていない）	1	2	2	1
7. Prior to the training event, how much of the information that you needed did you get?／ガイド講座育成実施日の前に必要な情報はどの程度入手できましたか。（1必要以上に情報が入手できた、4最低限の情報が入手できた、7全く情報提供されていない）	1	4	2	1
8. Was the cycling course too long or too short or about right?／自転車のコース長さに関してご意見を聞かせてください。（1とても短い、4丁度良い、7とても長い）。	6	2	4	6
9. Was the cycling course too easy or too difficult or about right?／自転車のコースの難しさに関してご意見を聞かせてください。（1簡単すぎる、4丁度良い、7難しすぎる）。	2	2	5	2

3.体験型プログラム等のガイド育成

第3回 体験型実地研修

アンケート結果

項目	参加者①	参加者②	参加者③	参加者④
10. Do you have any suggestions about the cycling route, difficulties and any other parts? / 行程、難しさやその他に関して何かご意見があればお聞かせください。	Eバイクで長距離を初めて走りました。 バッテリーが助けてくれるので、非電動アシスト自転車(ロードレーサー)に比べると格段に体力を使いません。その分距離の割には物足りなく感じます。ヒルクライムなどされていらっしゃるゲストでは一気に桂浜までは行きたくなるのでは?と思いました。	映えるスポットで写真撮影させて欲しい。撮ってもらうのではなく、自分で撮ることはアクティビティのひとつになるし、それをSNS発信することもしかり。 ロッドさんがびわの小さな実をもいでおいを嗅がせてくれたのは良かった(嗅覚)。 川辺に降りて、水に触れたり石ころ投げをしたり、そのようなアクティビティを付け足すといのではないかな。	一般道を通る事が多かったので、少し危険度上がる気がしました。 少しコース設定を見直す方が良いように思います。	もう少し自転車に乗っている時間があってもよかったかと思います。 沈下橋がたくさんあり、テーマを感じることができました。
11. What part of the training event did you find extremely useful OR extremely unuseful? / この講座で一番役に立つこと、一番役に立たないことがあれば、お聞かせください。	一番役に立つことは、皆で一緒に走る、一緒にSUPをするのと楽しい!とよくわかったこと。	役に立たないことは皆無です。経験させて頂いたことすべてを今すぐ役立てることが出来るわけではないですが、今後かならず有益に働く場面が出てくると思える内容ばかりでした。ありがとうございました。	外国人の日本人では、アクティビティの考え方や体験のレベルが違うという事は勉強になりました。 外国人に合わせたアクティビティガイドのやり方を考えていかなければいけないと思いました。	SUPを体験できたことが必要な経験になりました。実際にやってみることができたので、それを踏まえてのガイディングを考えることが出来ると思います。
12. How do you plan to use the knowledge you gained during the training in the future? / この講座に参加して得た知識はどのように使っていきたいですか。	SUPはさらに数回体験して自分のスキルを上げる必要がある。 自転車は先頭でサインを出すレベルにはまだ足りない。後方でトラックが追い越しできず渋滞したら一気に前へ出て先頭と確認しあってトラック等に抜いてもらうなどの判断とタイミングを計る勘を身に付けたい。	今すぐガイド業にまい進できる環境には残念ながら居ませんが、基本的にどんなときでも人とコミュニケーションするときに活かしていきたいと思います。	日本人のツアーで、今回のツアーのやり方を実施するのは無理があるので、日本人にも使える部分は使いたいです。 そして、外国人に対して学んだ事をもう少し発展させて実施したいと思っています。	ストーリーは持ちつつ、それを押し付けないようにするという大切なメッセージを教えていただきました。また、インタプリテーション能力が求められているという話をお聞きしたので、そのことを念頭に置いて活動したいです。
13. The "Organization for Promotion of Tourism in SHIKOKU" is creating a page to register local guide's information. It will be a platform for the visitors, who want to book or interact with Shikoku's local Adventure Guides. Do you wish to register on this page? / 本事業の主催者である四国ツーリズム創造機構がウェブページのプラットフォームを作ってローカルガイドの情報を掲載する予定があります。あなたの情報を掲載してよろしいでしょうか。(可能な方には四国ツーリズム創造機構からご連絡をします)	いいえ	いいえ	よい	よい
14. If there is anything you like to mention, please write below. / その他何かありましたら自由にご記入ください。	とても楽しく有意義でした。どうもありがとうございました!		大変勉強にもなったし、ツアーに参加する側としても楽しかったです。 ありがとうございます。 今週末もよろしくお願いします。	サイクリング、紙漉きや、食事、SUPに至るまで、仁淀川、高知の良さをたくさん知ることが出来ました。 前回同様、ロールプレイを取り入れてくださる講師の方で、あまり受けたことがない研修で貴重な機会でした。これをきっかけに課題を強化していきたいです。 ありがとうございました。

3.体験型プログラム等のガイド育成

第4回 体験型実地研修

第4回アドベンチャートラベルガイド体験型実地研修（中津溪谷方面）

<実施要領>

1. 日程 2022年11月5日（土曜日）～6日（日曜日） 1泊2日
2. 講師 AT ガイド シャノン・ウォーカー氏（KODO TRAVEL代表）
3. 進め方 講師とともに、旅行商品となっている安居溪谷・中津溪谷などのハイキングなどを通じ、お客様対応のポイントなどを実践いたします。講師自らがお客様役となり、参加者はガイドとしての実践を行います。講師もガイドも欧米豪旅行客を想定して、英語でのコミュニケーションとなります。中津溪谷、梶原の自然・歴史に触れ、欧米豪旅行者にその魅力をどう伝えるのか、どんなことに満足されるのか等、参加者が気付きを共有することを繰り返して研修を進めます。
4. 参加費 実地研修参加費は無料です。行程内の経費は主催者が負担します。
但し、集合場所までおよび解散場所までの交通費は各自の負担です。
5. 参加人数 4名
6. 企画実施 株式会社穴吹トラベル
7. 集合場所 J R 高松駅（午前6時）もしくはJ R 高知駅（午前9時）
8. サポート スルーガイド：カナル サンジーブ ラズ
9. 実施主体 一般社団法人 四国ツーリズム創造機構

<行程表>

1日目 時間	行程	備考
06:00	J R 高松駅 発	専用車にて出発
09:00	J R 高知駅 発	
09:30	安居溪谷ハイキング	講師紹介、行程・注意事項案内後、
～12:00	終了後、中津溪谷へ移動	安居溪谷の魅力説明 歩く距離約2km
12:40～13:30	昼食：中津溪谷ゆの森	現地で獲れたての山菜を含む四季折々の料理
13:30～15:30	ハイキングスタート	中津溪谷での七福神、雨竜の滝などを見学・解説
	終了後、移動	歩く距離：約3km
16:00～17:30	BLUE BREWクラフトビール醸造所&タッブルーム	専用車にて移動後、BLUE BREWクラフトビール醸造所&タッブルームにてテイスティング
	せいらの里（泊）	
2日目 時間	行程	備考
8:00	ホテルにて朝食	朝食後、四万十川にてチェアリング体験
9:00	朝食後、チェアリング体験	
10:00	梶原町・ハイキング	和紙の原料と豊かさを知るため水源地まで約1時間の
12:00	かみこや和紙体験	ハイキングの後、伝統的な手漉き和紙作り体験
12:30	昼食：くさぶき	梶原そばや山菜など梶原ならではの料理
14:00	梶原町内散策	自然と共存する隈研吾建築物群の見学など建築物に触れるウォーキング
18:00	J R 高知駅着	専用車にて移動
20:00	J R 高松駅着	到着後解散

3.体験型プログラム等のガイド育成

第4回 体験型実地研修

研修の様子



安居溪谷



安居溪谷



中津溪谷



かみこや



栲原町



栲原町立図書館

3.体験型プログラム等のガイド育成

第4回 体験型実地研修

参加者アンケート

項目	参加者①	参加者②	参加者③	参加者④
1. Please write your full name. /お名前を教えてください。	横山 美津子	竹並 広文	石村 慎太郎	今泉朋子
2. How likely is it that you would recommend the training event to a friend or colleague? /今回のガイド育成講座を友人や同僚に薦める可能性はどの程度ありますか? (7非常に薦めたい、4どちらでもない、1全く薦めたくない)	7	5	5	7
3. Overall, how would you rate the training event? /全体的に、今回のガイド育成講座をどのように評価しますか?	素晴らしい	とても良い	とても良い	素晴らしい
4. What did you like about the event? /この講座のどこが良かったですか?	プログラム内容や講師	体験メニューとしては紙漉きが楽しかったです。自分としても楽しめたので、ガイドとして伝える事に張り合いがありました。	講師、行程管理、ツアー内容、現地ガイド	外国人旅行者にいかにか端的に説明するのが大切かという新しい概念を学ぶことができました。これまでスクリプトなど用意していたが、求められていることは別の事かもしれないという気づきを得られました。
5. What did you dislike about the event? /この講座のどこが良くなかったですか?	全てよかった	栲原の建築物の説明は、少しくどい感じがして飽きが来る感じでした。	参加者に英語を全く解さない人がいたために講座の半分が日本語だった点。講座を通じて「英語漬け」を期待していました。	よくなかったことはないですが、チェアリングを体験してみたかったです。
6. How organized was the training event? /この講座はどの程度うまく運営されましたか? (1非常にうまく運営できている、4どちらでもない、7全く運営できていない)	1	5	1	1
7. Prior to the training event, how much of the information that you needed did you get? /ガイド講座育成実施日の前に必要な情報はどの程度入手できましたか。 (1必要以上に情報が入手できた、4最低限の情報が入手できた、7全く情報提供されていない)	2	7	5	2
8. Was the course too long or too short or about right? /コース長さに関してご意見を聞かせてください。 (1とても短い、4丁度良い、7とても長い)。	4	4	4	3
9. Was the course too easy or too difficult or about right? /コースの難しさに関してご意見を聞かせてください。 (1簡単すぎる、4丁度良い、7難しすぎる)	4	4	2	2
10. Do you have any suggestions about the route, difficulties and any other parts? /行程、難しさやその他に関して何かご意見があればお聞かせください。	安居渓谷と中津渓谷を巡ったが、どちらか片方で良かったかも知れない。	栲原の建築物のガイドに関しては、興味を持つ方持たない方の温度差があると思うので、それを長時間かけて案内するのは少し無理があるように思います。	難しさはほぼ感じませんでした	軽いハイキングという感じだったので、もっと長めのハイキングを求められる方もいるかもしれないと感じました。

3.体験型プログラム等のガイド育成

第4回 体験型実地研修

参加者アンケート

項目	参加者①	参加者②	参加者③	参加者④
11. What part of the training event did you find extremely useful OR extremely unuseful? / この講座で一番役に立つこと、一番役に立たないことがあれば、お聞かせください。	情報を得た後、ロールプレイングを行っていただき、フィードバックしてもらえた。難易度は高かったが非常に勉強となりました。	現地ガイドの方は伝えたい事が多く長くなりがちなので、必要な事興味ある事を簡単に伝える方法を意識していくことを学びました。	一番役立ったのは講師のガイドスキルの講話やアドバイスです。役に立たなかった点は特段思い当たりません。	講師の方のご経験で、外国人旅行者のニーズや視点を学ぶことができたこと。日本人とは違うということを理解できたとし、そういったことはやはり実際に外国人の目線でご指摘いただかないとわからないので、とても役に立ちました。また、ロープレの機会も多く貴重な研修でした。
12. How do you plan to use the knowledge you gained during the training in the future? / この講座に参加して得た知識はどのように使っていきたいですか。	実際のゲストを迎え入れる際に役立てる。	アクティビティガイドをする上で学んだ事を参考にしたい実践していきたい。	個人としてのガイド活動にももちろん使わせていただきますが、インバウンドに関連する仕事でするので、海外に四国の魅力を発信できるコンテンツを教えてくださいました。	自分の視点を一度白紙に戻して、外国人旅行者が何を不思議に、魅力的に思うかを的外さないように説明していきたいと思います。
13. The “Organization for Promotion of Tourism in SHIKOKU” is creating a page to register local guide’s information. It will be a platform for the visitors, who want to book or interact with Shikoku’s local Adventure Guides. Do you wish to register on this page? / 本事業の主催者である四国ツーリズム創造機構がウェブページのプラットフォームを作ってローカルガイドの情報を掲載する予定があります。あなたの情報を掲載してよろしいでしょうか。（可能な方には四国ツーリズム創造機構からご連絡をします）	よい	よい	よい	よい
14. If there is anything you like to mention, please write below. / その他何かありましたら自由にご記入ください。	研修の機会をいただき感謝いたします。ありがとうございました。	大変勉強になりましたし、楽しいひと時も過ごさせてもらいました。ありがとうございました。学んだ事を実践していくとともに、英会話も頑張っていきます。今後ともよろしくおねがいします。	とてもよい機会でした。企画、運営に携わられた方々に改めて御礼申し上げます。	このような貴重な研修に参加させていただけたことに感謝しております。またあれば参加させていただきたいですし、学んだことをしっかり実践で生かせるようにしたいです。ありがとうございました。

4.分析・課題抽出

分析・課題抽出

■ A Tに関する基礎知識研修アンケートからの分析

- ・基礎知識研修への参加者44名のうち、53%にあたる23名がアンケートの回答をした。
アンケート結果を見ると「A Tガイドとして活躍したい」と思う参加者が16名（70%）おり、「A Tガイドとして活躍するために今どんなことをしていますか」項目からは、体力づくりや各アクティビティの情報収集、アクティビティ現場での実体験など、A T要素に対し取り組んでいると答えた方が11名（48%）、語学や資格などの勉強と答えた方が6名（26%）という回答状況であった。
A Tガイドとして活躍するために、A T要素となる現場の情報収集や語学勉強など自発的に学んでいることが分かる。

■ 体験型プログラム等のガイド育成からの分析

- ・体験型プログラムへの参加者16名（延べ人数）のうち、94%にあたる15名がアンケートの回答をした。
アンケート結果を見ると「全体的に今回のガイド育成講座をどのように評価しますか」項目では全員が「良い」「とても良い」といった評価であった。
- ・体験型プログラムを通じて、参加者からの具体的な意見としては「サイクリングの距離が長い気がした」「予めサイクリングガイドとの綿密な打ち合わせが必要」「自転車に乗る時間を削ってでも実地対応の時間を取った方が良い」というアンケートでの意見と、参加者からの現地の声からは、サイクリング等のアクティビティの実体験の時間を削ってでも、具体的なガイディング方法の事例紹介や現地での事業者との関係構築のための意見交換等の場面があるとよいとの意見があった。
- ・今回の研修への参加条件として、「ATツアーへのガイド希望者（英語力が地域通訳案内士レベル以上）」と設定していたが、3・4回目の参加者の中には英語がほぼ話せない方が参加していた。英語のみでの研修を実施する予定であったが、部分的に日本語を交えての研修となった。

■ 課題

- ・基礎知識研修の参加者がオンラインが36名、現地参加が8名であったが、ハイブリッド形式にこだわらずオンラインだけでの実施でも良いと思われる。
- ・基礎知識研修に申込できない声として、平日の日中は別の仕事（もしくはガイドの仕事）があり、参加できないため、金曜日もしくは土曜日の夜19時開始であれば参加しやすいといった意見もあった。
- ・「A Tガイドとして活躍したい」と思う参加者がいるが、英語力が低く、現地研修に参加をしても、言葉が通じない・伝えることができないといった参加者がいた。
今後、同様のガイド研修を実施する際には、現地実地研修参加希望者に対して予め英語による面接や英語による簡単な自己紹介を動画で提出いただき、その中から選定をすることを条件に付け加えることも検討した方がよいと思われる。
- ・今回の体験型プログラム等のガイド育成では、旅行先現地にて講師からの説明を聞き、ロールプレイング形式で研修を行ったが、実践型の研修は参加者にとっても非常に効果的であることが分かった。今後も実践のガイディングの場面を想定し、今回とは異なる観光エリアにて、今回同様に外国人等を旅行者として見立てた実践型の研修を継続していく必要があると思われる。

5.成果

アウトプット

項 目	目 標	成 果
ガイド育成セミナー	1回	1回
ガイド育成セミナー参加者数	10名以上	44名 現地参加 8名 オンライン参加36名
体験型プログラム等のガイド実地研修	4回程度 (2エリア×2回)	4回 愛媛県×2回 高知県×2回
ガイド研修参加者数	10名	12名

アウトカム

項 目	目 標	成 果
ガイド付きツアー利用者数	50名以上	欧米豪市場 8名 アジア市場 178名 合計 186名

〈アウトカムの成果について〉

- ・2022年10月以降の訪日外国人旅行者の受入緩和に伴い、欧米豪市場よりもアジア市場が先に回復したことで、アジア圏に対してもA Tを訴求できることが分かった。

5.成果

〈本事業で育成を行ったガイド対応可能者リスト〉
・ガイド実地研修参加者数**12名**のうち、一般社団法人四国ツーリズム創造機構ホームページにガイドリストとして情報掲載に承諾した参加者は下記の**8名**。

	①	②	③	④
名前	山口真理	広瀬 雅旨	村下 治	田村成業
フリガナ	ヤマグチ マリ	ヒロセ マサシ	ムラシタ イサオ	タムラ シゲナリ
性別	女性	男性	男性	男性
所属	セトウチワンダーラストガイド	SGG 松山	フリーランス（ガイド）	フリーランス(ガイド)
保有資格	香川せとうち地域通訳案内士 インバウンド対応語学講師 (香川県観光協会)	資格なし	全国通訳案内士 (ドイツ語)	全国通訳案内士
英語	ビジネスレベル	日常会話レベル	ビジネスレベル	ビジネスレベル
フランス語	—	—	日常会話レベル	—
ドイツ語	—	—	ネイティブレベル	—
対応可能エリア	香川県・愛媛県 高知県・徳島県 岡山県[美観地区]	愛媛県	愛媛県・四国全域	愛媛県
得意分野	食・文化体験 ・アクティビティ (街歩き・ハイキング)	食・文化体験 ・アクティビティ (サイクリング)	食・文化体験 ・アクティビティ (サイクリング・SUP ・トレッキング)	食・文化体験 ・アクティビティ (サイクリング・SUP ・トレッキング)
A Tガイド意欲	あり	あり	あり	あり

	⑤	⑥	⑦	⑧
名前	坂本彩華	今泉朋子	石村慎太郎	横山 美津子
フリガナ	サカモト アヤカ	イマイズミ トモコ	イシムラ シンタロウ	ヨコヤマ ミツコ
性別	女性	女性	男性	女性
所属	四国ツアーズ	四国遍路通訳ガイド協会	高松空港株式会社	フリーランス(ガイド)
保有資格	資格なし	全国通訳案内士 香川せとうち地域通訳案内士	全国通訳案内士	資格なし
英語	ビジネスレベル	日常会話レベル	4：ネイティブレベル	ビジネスレベル
フランス語	ビジネスレベル	—	—	—
ドイツ語	—	—	—	—
対応可能エリア	愛媛県・松山 内子・大洲周辺	四国全域	四国全域	徳島県・高知県
得意分野	食・文化体験 ・お遍路・歴史 アクティビティ (街歩き・ハイキング)	食・文化体験 アクティビティ (サイクリング・SUP)	食・文化体験 アクティビティ (サイクリング・SUP ・トレッキング)	食・文化体験 アクティビティ (街歩き・ハイキング)
A Tガイド意欲	あり	あり	あり	あり

6.総括

総括

■セミナー、実地研修について。

- ・本事業では、四国におけるA Tガイドの知識向上を目的に専門家によるセミナーの実施と旅行先となる現地にて、実際にA Tの体験とガイディングポイントについての育成を図った。
- ・セミナーで一番参考となった内容として「リスクマネジメント（危機管理）」を回答者23名中14名が回答しており、今後のセミナー等でも、旅行先やガイディングを実施する現場で発生する可能性のある具体的な事例を取り入れた講義が受講者には有益であると考えられる。「今後似たようなセミナーがあれば、どんなことを聞きたいか」設問でも、成功例や失敗例といった体験談や現場で発生したクレーム事例とその解決策などを求める受講者が多く、インバウンドの回復と共にガイド機会が増えている今だからこそ、トラブル対策や成功事例等の情報共有が求められている。
- ・現場実地研修への参加者全員から研修全体に対して「良い」以上の評価が得られた。実地研修は今後ガイドとして活躍する人材にとって貴重な研修の場であり、有効であったと考えられる。
- ・今回の実地研修では愛媛県と高知県であったが、アクティビティ（サイクリング、SUP）はどのエリアでも行われているため、研修参加者からは「様々な場面で応用できるため、今後に活かしたい」などの意見が得られた。
- ・2022年10月以降の訪日外国人旅行者の受入緩和に伴い、欧米豪市場よりもアジア市場が先に回復した。アジア圏に対してもA Tを訴求できることが分かった。

■具体的な事業の実施

- ・コロナウイルス感染拡大の水際対策により、これまでは海外からの旅行者が少なかったが、2022年10月から訪日外国人旅行者の受入れが再開した。四国においても訪日外国人旅行者数が回復傾向にあり、さらには2025年開催の大阪万博や瀬戸内国際芸術祭2025を控え、訪日外国人旅行者が一気に増加すると考えられる。訪日外国人旅行を取扱う旅行会社やガイドなどの関係者は、この好機を逸することなく、消費拡大や満足度向上に繋がるための取り組みを進めることの重要性を再認識する必要がある。
- ・A Tガイドの育成として、座学等のセミナーではより具体的な事例やトラブルの対処法等、ガイドの現場にて即実践に繋がる内容を取り入れる必要がある。また、今回同様に現地実地研修を別のエリアでも実施するなど、現場で体験ができる機会を増やして、ガイドのスキル向上に繋げて行きたい。
- ・実践型の研修は参加者にとっても非常に効果的であるため、今後も実践のガイディングの場面を想定し、今回とは異なる観光エリアにて、今回同様に外国人等を旅行者として見立てた実践型の研修を継続していく必要があると思われる。

受託事業者：株式会社 穴吹トラベル

〒760-0025 高松市古新町2番1号 アルファレガロ古新町1F
TEL 087-823-1666 FAX 087-823-1150